

令和3年7月16日 午後3時00分から
区役所8階 特別会議室

令和3年度第2回 足立区環境審議会資料

<審議事項>

	今回の審議会における審議事項について	・・・1
審議事項1	環境基本計画第5章各指標の目標値（案）について	・・・2
審議事項2	環境基本計画第5章における各施策の具体的な取組（案）について	・・・28
審議事項3	環境基本計画第8章の構成について	・・・29

<報告事項>

報告事項1	資源持去り防止対策の実施結果について	・・・30
報告事項2	家庭ごみ排出量及び資源化量、資源化率について	・・・32

別紙1	環境基本計画第5章（案）【審議事項1、2関連】
別紙2	環境基本計画第8章（案）【審議事項3関連】

令和3年度第2回足立区環境審議会資料

件名	今回の審議会における審議事項について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>前回の審議会でご審議いただいた内容を踏まえ、環境基本計画の見直しを進めている。</p> <p>今回の審議会では第5章の各指標の目標値と施策の取組、第8章のレイアウトについてご意見を伺い、計画に反映させていく。</p> <p>第1章 計画の基本的事項 第2章 計画改定の背景 第3章 CO₂排出実質ゼロの2050年に向けて 第4章 計画の体系</p> <p>第5章 各柱の施策 審議事項1・審議事項2 目標、現状、課題、施策、指標（目標値）、 区の率先行動、区民・事業者等の役割などを柱ごとに記載 柱1 地球温暖化・エネルギー対策 柱2 循環型社会の構築 柱3 生活環境の維持・保全 柱4 自然環境・生物多様性の保全 柱5 学びと行動のしくみづくり</p> <p>第6章 環境基本計画に含む計画等 第7章 計画の進行管理</p> <p>第8章 環境保全行動指針 審議事項3 区、区民、事業者それぞれの行動指針を柱ごとに記載</p>

令和 3 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	環境基本計画第 5 章各指標の目標値（案）について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	<p>前回の審議会でご審議いただいた環境基本計画第 5 章の各指標について、第三次環境基本計画の計画年度である 2024 年度の目標値案と「二酸化炭素排出実質ゼロ」に関連が深い柱 1、施策群 1-1 から 1-3 までについては 2030 年度目標値案を、実績値の推移や指標の定義と併せ 4 ページから 27 ページにまとめた。</p> <p>また、一部、施策群の活動指標について、より分かりやすい表現とすることや、成果指標とのつながりを強めることを目的とし、修正、見直しを行った。</p> <p>第 5 章の各柱の現状と課題などを含めた全体の構成については、別紙 1 にまとめている。</p> <p>環境審議会のご意見をいただき、目標値および第 5 章の構成について整理していく。</p> <p>第 5 章 各柱の施策</p> <p>目標、現状、課題、施策、指標（目標値）</p> <p>柱 1 地球温暖化・エネルギー対策</p> <p>1-1 エネルギーの効率的な利用</p> <p>1-2 再生可能エネルギーの利用拡大</p> <p>1-3 二酸化炭素吸収量を増やす取組みの推進</p> <p>1-4 気候変動による被害の回避・軽減</p> <p>柱 2 循環型社会の構築</p> <p>2-1 リデュースとリユースの推進</p> <p>2-2 廃棄物の適正な排出と処理</p> <p>2-3 持続可能な資源利用への転換</p> <p>柱 3 生活環境の維持・保全</p> <p>3-1 生活環境の保全と公害対策の推進</p> <p>3-2 快適で美しいまちづくり</p> <p>柱 4 自然環境・生物多様性の保全</p> <p>4-1 自然や生物多様性に対する理解の促進</p> <p>4-2 自然環境の保全と創出</p> <p>柱 5 学びと行動のしくみづくり</p> <p>5-1 環境意識の向上と行動する人材の育成</p> <p>5-2 環境保全活動の拡大</p>

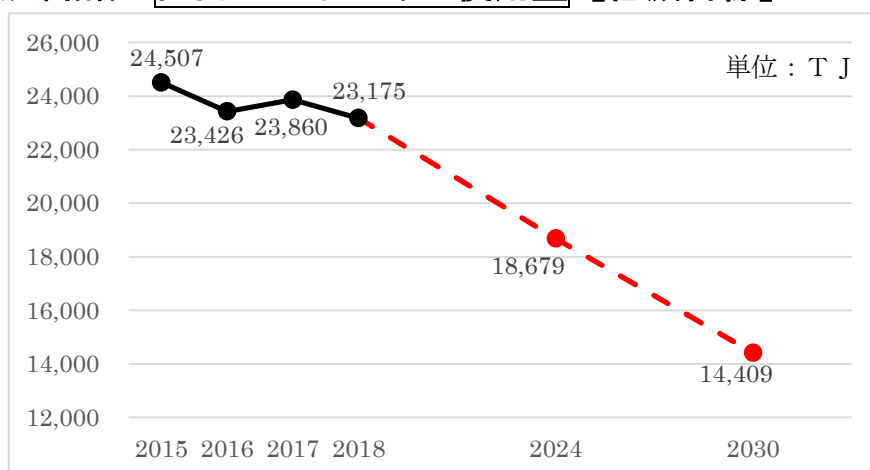
内 容	<p>指標の凡例</p> <p>現 現行基本計画と同じもの 緑 緑の基本計画と同じもの</p> <p>基 足立区基本計画と同じもの</p>
-----	--

柱1 地球温暖化・エネルギー対策

1-1 エネルギーの効率的な利用

目標 エネルギーを効率的に使うことで、二酸化炭素排出を減らす

(1) 成果指標 **区内のエネルギー使用量【低減目標】**



※ 現時点の最新年度は 2018 年度

目標値、定義

2024 年度目標 18,679TJ

2030 年度目標 14,409TJ

オール東京 6 2 市区町村共同事業から提供される区内で使用された電力、石油類、ガス類を熱量換算したデータ

2030 年の CO2 目標値 2013 年比 46%以上削減と同様に進捗すると仮定し、2018 年実績から直線的に削減が進むと想定した場合の値 (2013 年度エネルギー使用量 26,684TJ)

(2) 活動指標 1 **助成制度による省エネ支援件数** **基**

目標値、定義

2024 年度目標 410 件

2030 年度目標 410 件

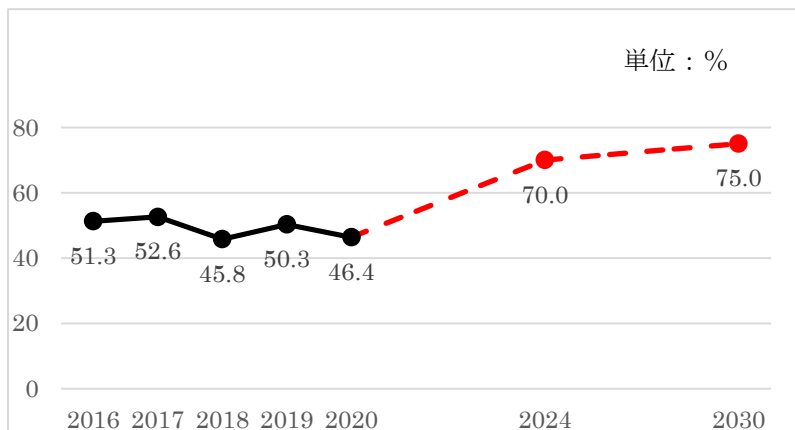
省エネリフォーム補助金交付要綱、節水型トイレ設置費補助金交付要綱に基づく助成件数

足立区基本計画の指標見直しにより実績なし

足立区基本計画 2021 年度目標 360 件

(3) 活動指標 2 **省エネルギーを心がけている区民の割合** **基**

※ 節電、節水、省エネ効果が高い家電の利用、自家用車の利用を控える、マイバッグを持参しプラスチック製のレジ袋をもらわないなど



目標値、定義

2024 年度目標 70%

2030 年度目標 75%

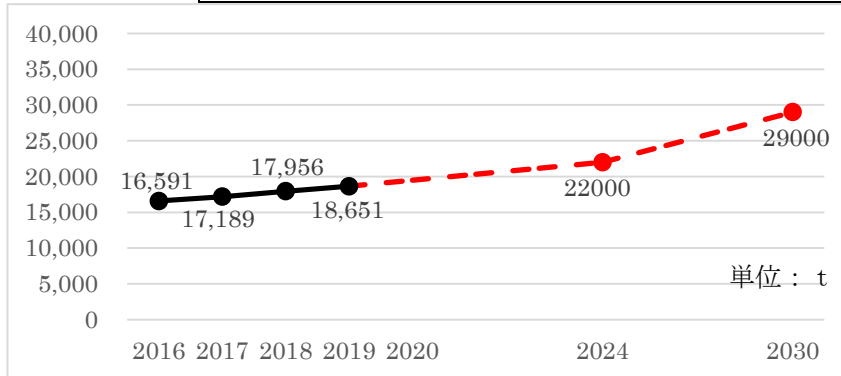
足立区政に関する世論調査で、環境のために心がけていることとして、省エネを選んだ区民の割合

足立区基本計 2024 年度目標値 70%

1-2 再生可能エネルギーの利用拡大

目標：二酸化炭素排出量が少ないエネルギー源に切り替えて、排出を減らす

(1) 成果指標 **再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量**



※2020 年度実績は 7 月公表予定

目標値、定義

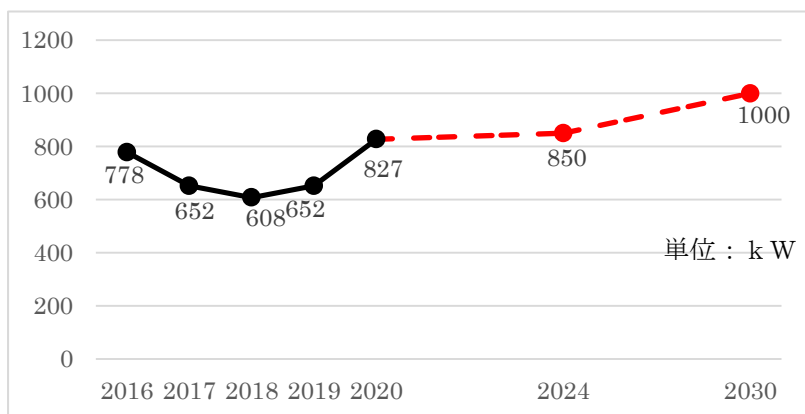
2024 年度目標 22,000t

2030 年度目標 29,000t

資源エネルギー庁固定価格買取制度公表用ウェブサイトの足立区の導入容量（累計）を用い、東京ソーラー屋根台帳（東京都）の年間予測発電量の推定及び太陽光発電システムの年間予測 CO2 削減量の推定に基づき算出

「再生可能エネルギーの導入量（累計）」目標値に基づき設定

(2) 活動指標 1 **区の助成による年間の太陽光発電の導入量** **基**



目標値、定義

2024 年度目標 850kW

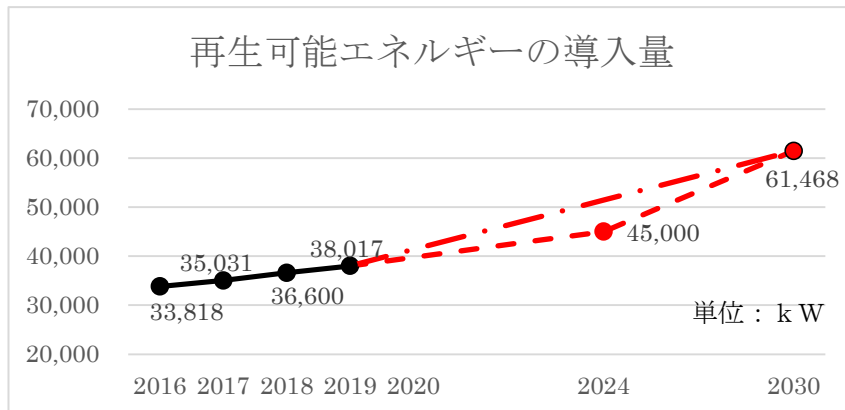
2030 年度目標 1,000kW

太陽光発電システム設置費補助金交付要綱に基づき助成、設置された発電設備の導入容量

足立区基本計画目標値 2024 年度 720kW から見直し

2020 年度実績が基本計画の 2024 年度目標値を既に上回っているため目標値を再設定

(3) 活動指標 2 **再生可能エネルギーの導入量 (累計)** **現** **基**



※2020 年度実績は 7 月公表予定

目標値、定義

2024 年度目標 45,000kW

2030 年度目標 61,468kW

資源エネルギー庁固定価格買取制度公表用ウェブサイトの足立区の導入容量 (累計)

現行環境基本計画目標値 2024 年度 36,000kW から見直し

足立区基本計画目標値 2024 年度 45,000kW

2030 年度目標値は、環境省再生可能エネルギー情報提供システム (REPOS) より、住宅用等太陽光導入ポテンシャルで最も経済性を考慮した導入ポテンシャルの容量を 2050 年に達成すると仮定し、2018 年実績から直線的に設置が進むと仮定した場合の値

1-3 二酸化炭素吸収量を増やす取組みの推進

目標：二酸化炭素吸収量を増やすことで実質ゼロにつなげる

(1) 成果指標 **区内の二酸化炭素吸収量**

目標値、定義

2024 年度目標 3,900t

2030 年度目標 4,000t

地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル算定手法編（環境省）「2-4-2. 都市緑化の推進による温室効果ガス吸収量の推計」に基づき算出

2019 年度実績 3,744t

活動指標 1 「樹木被覆地率」の伸び率と同割合で設定

(2) 活動指標 1 **指標見直し**

【見直し前】 区や区民の支援・整備による二酸化炭素吸収量

【見直し後】 **樹木被覆地率** **現** **緑**

（成果指標の達成につながる指標に変更）

目標値、定義

2024 年度目標 9.8%

2030 年度目標 10.2%

樹木で覆われた土地の割合

（足立区緑の基本計画の定める目標値）

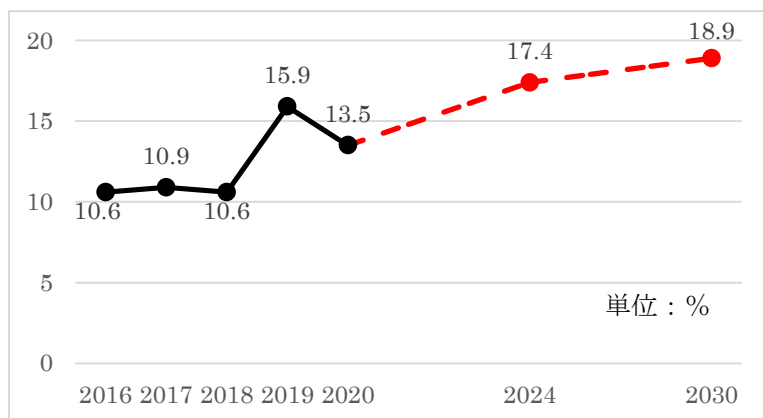
※ 緑の実態調査を実施するおおむね5年おきに実績を確認する
年度ごとには別の数値を用いて報告を行う予定

2017 年度実績 9.4%

現行環境基本計画目標値 2024 年度 8.7%から見直し

緑の基本計画目標値 2024 年度 9.8%、2029 年度 10.2%

(3) 活動指標 2 **緑化活動に実際に参加した区民の割合** **緑**



目標値、定義

2024 年度目標 17.4%

2030 年度目標 18.9%

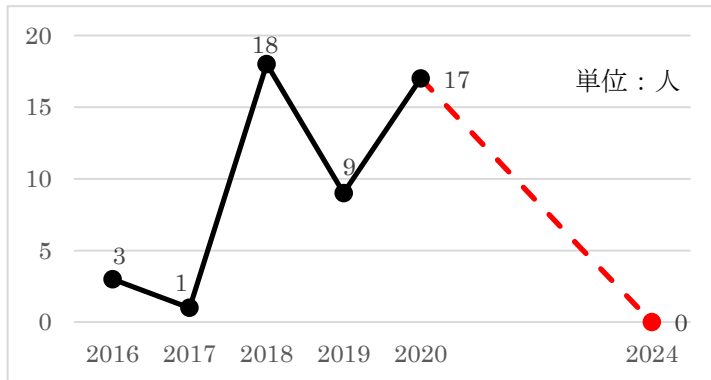
足立区政に関する世論調査で、この1年間に参加した活動で緑化活動と回答した区民の割合 **(足立区緑の基本計画の定める目標値)**

緑の基本計画目標値 2024 年度 17.4% 2029 年度 18.9%

1-4 気候変動による被害の回避・軽減

目標：暑熱、気象災害の被害を少なくする

(1) 成果指標 **熱中症や気象災害による死者数**【低減目標】



目標値、定義

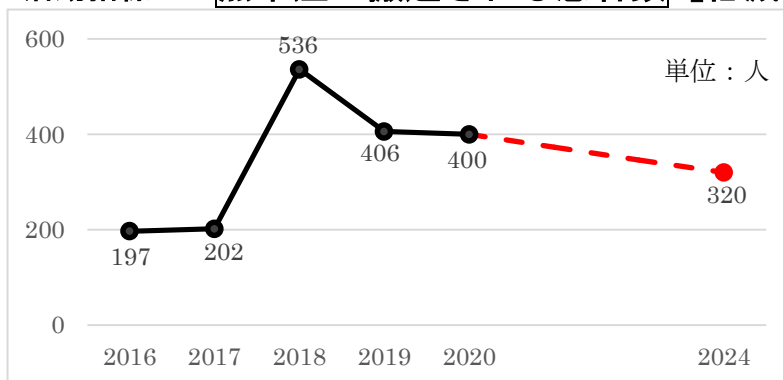
2024 年度目標 0 人

熱中症による死者数は、東京消防庁のデータ。

気象災害は、自然災害のうち、風水害（洪水、土砂災害、竜巻等突風）での死者数

※ 過去5年は全て熱中症による死者

(2) 活動指標 1 **熱中症で搬送される患者数**【低減目標】 **現**



目標値、定義

2024 年度目標 320 人

東京消防庁のデータ

(3) **現行環境基本計画目標値 2024 年度 160 人から見直し**
近年の実績より目標値を修正

目標値、定義

2024 年度目標 80.0%

足立区政に関する世論調査で、「河川の氾濫時の避難場所を決めている」と答えた区民の割合（2020 年度からの調査項目）

2020 年度実績 77.0%

2020 年度実績より推計

柱2 循環型社会の構築

環境基本計画における定義

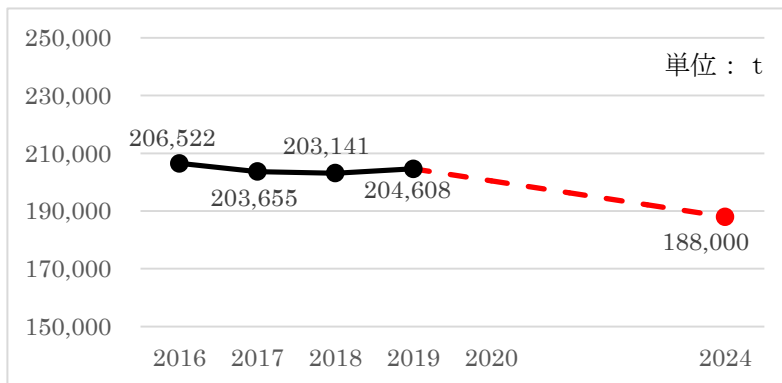
- ・ 廃棄物 法律の定義と同じ。ごみ、資源化物も含む概念。
- ・ ごみ
 - (1) 区が収集する家庭ごみ（燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ）
※家庭ごみ：区収集事業系ごみ含む（従業員 20 人以下かつ 1 回あたりの排出量が 90 リットル以下の事業者は、有料ごみ処理券を貼付することで区収集ごみとして排出できる）
 - (2) 事業者から清掃工場に持ち込まれたごみ
- ・ 資源化物
 - (1) 区が資源として家庭から収集したもの
 - (2) 集団回収により収集されたもの
 - (3) 資源買取市で買い取られたもの

2-1 リデュースとリユースの推進

目標：廃棄物の量を減らす

(1) 成果指標 **区が把握できる廃棄物の量**【低減目標】

(区収集ごみ+資源化物+事業系持込ごみ)



※2020 年度実績は 9 月確定予定

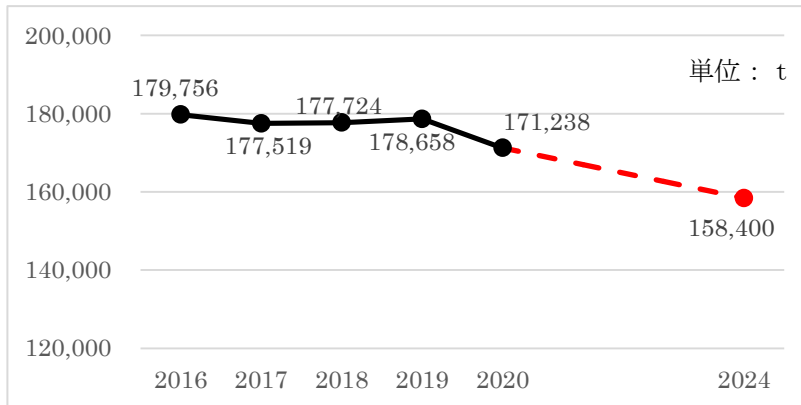
目標値、定義

2024 年度目標 188,000t

区収集ごみ+事業系持込ごみ+行政回収資源（食品トレイ含む）+集団回収+ペットボトルキャップ回収+資源買取市

第四次足立区一般廃棄物処理基本計画の 2024 年度目標値から 2019 年度実績を基に修正(第四次足立区一般廃棄物処理基本計画の 2024 年度目標値 190,900t)

(2) 活動指標 1 **区内のごみ量（区収集＋事業系持込）**【低減目標】 **現** **基**



目標値、定義

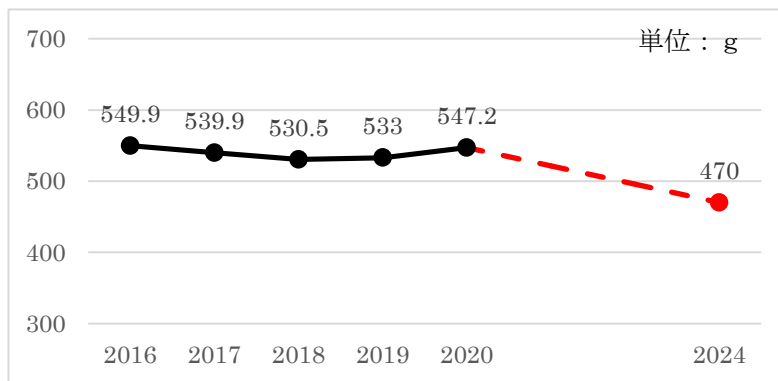
2024 年度目標 158,400t

区収集ごみ＋事業系持込ごみ

現行環境基本計画目標値 2024 年度 158,400 t

足立区基本計画目標値 2024 年度 158,400 t

(3) 活動指標 2 **1人1日あたりの家庭ごみ排出量**【低減目標】 **現** **基**



目標値、定義

2024 年度目標 470g

区民1日1人あたりの家庭ごみ（燃やすごみ・燃やさないごみ・粗大ごみ）
排出量

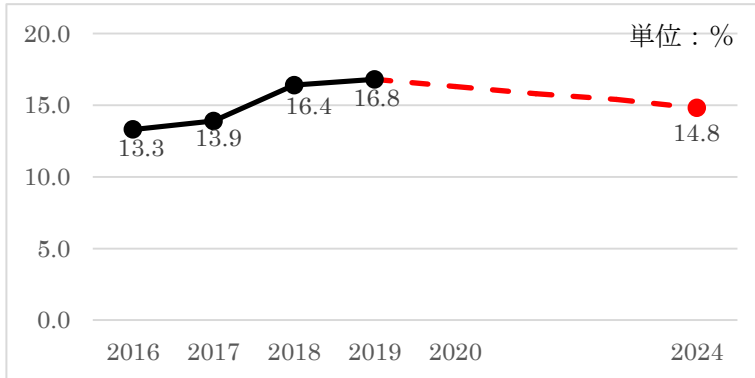
現行環境基本計画目標値 2024 年度 470 g

足立区基本計画目標値 2024 年度 470 g

2-2 廃棄物の適正な排出と処理

目標：分別ルールに基づき排出された廃棄物を効率的に収集し、処理する

(1) 成果指標 **燃やすごみに含まれる資源化物の割合**【低減目標】



※2020年度は組成調査未実施

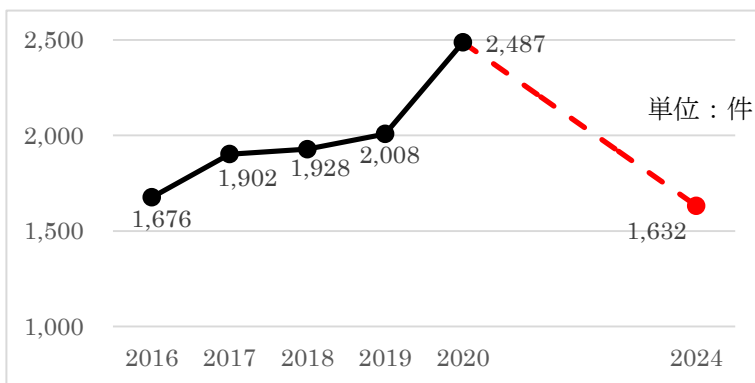
目標値、定義

2024年度目標 14.8%

燃やすごみの組成調査における紙類、ペットボトル、びん・缶類など資源化が可能な品目の割合

2019年度の実績より推計

(2) 活動指標 1 **適正排出のための指導件数（ふれあい指導）**【低減目標】



目標値、定義

2024年度目標 1,632件

ふれあい指導の実施件数

(3) 活動指標 2 **雑紙（ざつがみ）を燃やすごみでなく、資源として出している区民の割合**

※雑紙…家庭から排出される古紙のうち、新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれの区分にも入らないもの
(パンフレット、コピー用紙、お菓子などの包装紙等)

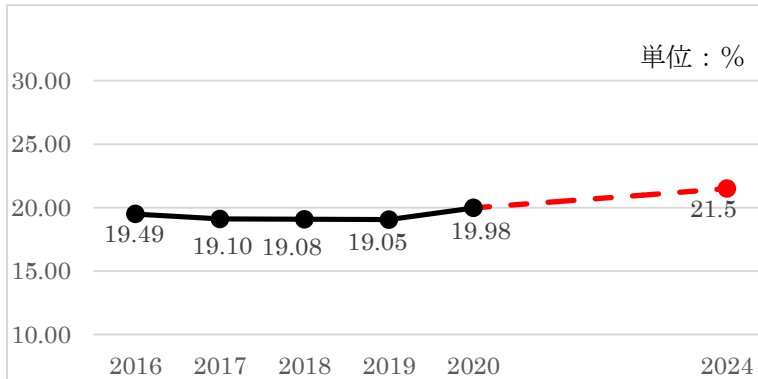
2021 年度実績を踏まえ目標値を設定予定

足立区政に関する世論調査の新規調査項目のため、データなし

2-3 持続可能な資源利用への転換

目標：事業者との連携により、廃棄物の資源化を進める

(1) 成果指標 **資源化率** **現** **基**



目標値、定義

2024 年度目標 21.5%

$(\text{資源回収量} + \text{燃やさないごみを資源化した量} + \text{粗大ごみを資源化した量}) \div (\text{区が収集したごみ量} + \text{区が収集した資源化物量} + \text{集団回収量})$

現行環境基本計画目標値 2024 年度 27.0%

近年の実績の推移から目標値を見直し

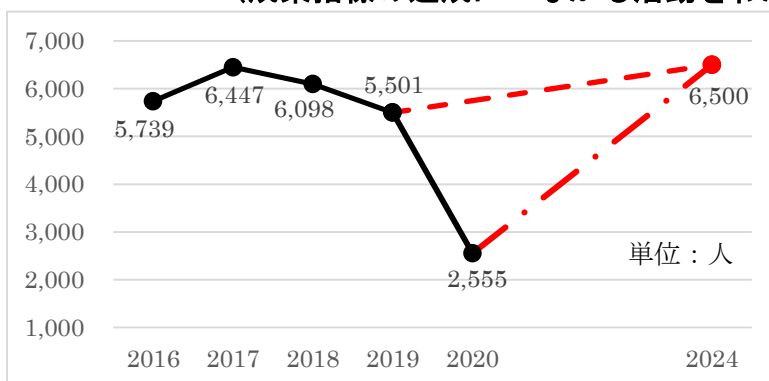
足立区基本計画目標値 2024 年度 21.5%

(2) 活動指標 1 **指標見直し**

【見直し前】 資源化品目数

【見直し後】 **資源買取市の利用者数**

(成果指標の達成につながる活動をわかりやすく表した指標に変更)



目標値、定義

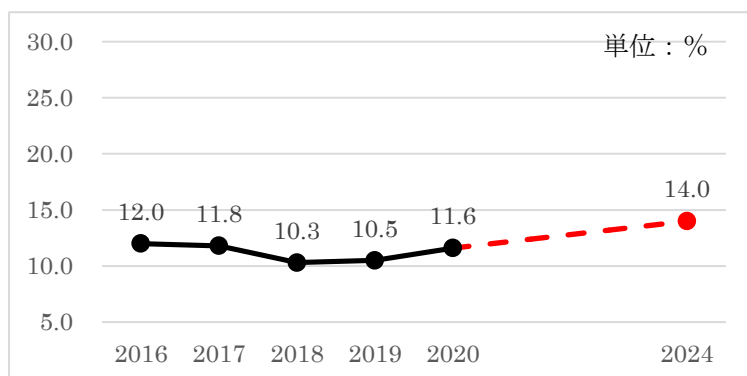
2024 年度目標 6,500 人

資源買取市に家庭から出た資源を持ち込んだ区民の延べ人数

2020 年度実績 2,555 人

新型コロナウイルスの影響が出る前の 2019 年度までの実績を基に推計

(3) 活動指標2 **環境に配慮した製品を選んで使っている区民の割合**



※環境に配慮した製品…天然由来成分や環境負荷が低い素材を使用した製品。
エコマークや省エネ性マーク、再生紙利用マーク等が表示されている製品。
Rマークがついたプラスチック製品やリサイクルコットンを使用した衣類等。

目標値、定義

2024年度目標 14.0%

足立区政に関する世論調査で、環境に配慮した製品を選んで使っていると回答した区民の割合

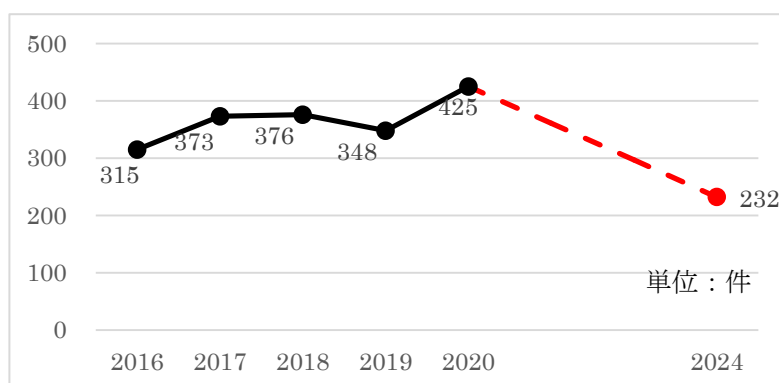
近年の実績の推移を基に推計

柱3 生活環境の維持・保全

3-1 生活環境の保全と公害対策の推進

目標：法令に基づく指導、対策と苦情への対応により、生活環境を維持・改善する

(1) 成果指標 **公害苦情の相談件数**【低減目標】 現



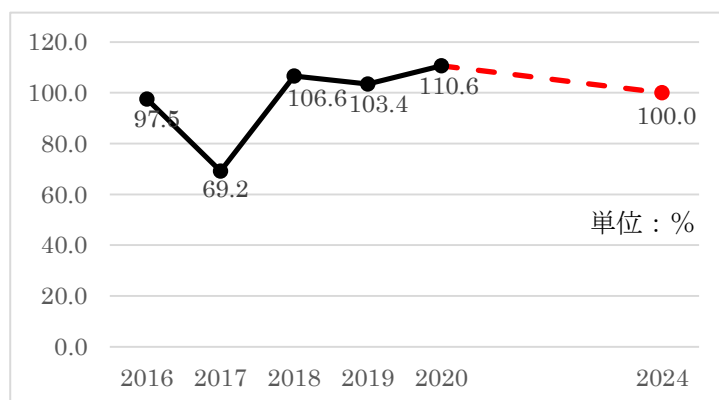
目標値、定義

2024年度目標 232件

区に寄せられた公害に関する苦情の相談件数

現行環境基本計画目標値 2024年度 232件

(2) 活動指標1 **公害苦情相談の解決率** (解決件数/受付件数)



目標値、定義

2024年度目標 100%

当該年度中の苦情処理済み件数 (※) ÷ 苦情の相談件数 (当該年度の相談件数と処理済み件数で算定しているため、年度をまたがる場合など、解決率が100%を上回るケースもある)

※処理済み：環境省の基準 (相談者から3か月間再度の苦情や相談がない) を満たすもの

(3) 活動指標2 **指標見直し**

【見直し前】 アスベスト、土壌汚染の法令違反件数

【見直し後】 **大気汚染防止法に基づく工事現場への立入件数**

(成果指標の達成(低減)につながる取り組みに指標を変更)

目標値、定義

2024年度目標 90件

新規指標のため実績なし

解体等工事現場でのアスベスト飛散防止のため、アスベストの調査・飛散防止状況等の確認を行った工事現場の件数(アスベスト含有吹付材・保温材の除去等の工事+アスベストに関する苦情のあった工事+区が選定し立ち入り調査を行った工事)

3-2 快適で美しいまちづくり

目標：地域の美化活動や不法投棄・ごみ屋敷対策により、きれいなまちをつくる

(1) 成果指標 **ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合** 基

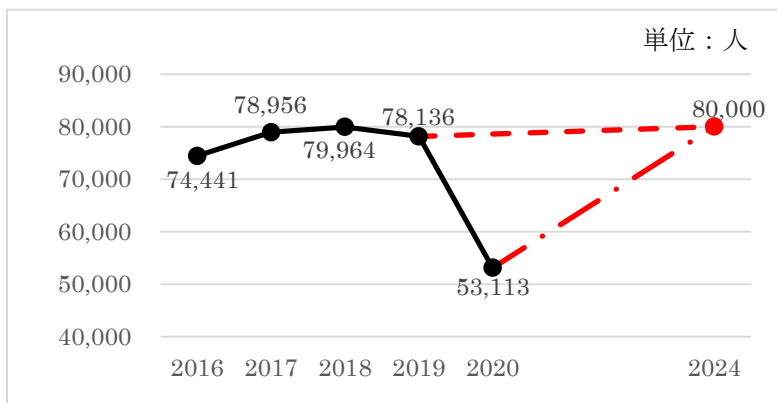
目標値、定義

2024 年度目標 50%

足立区基本計画新規指標のため実績なし

足立区基本計画目標値 2024 年度 50%

(2) 活動指標 1 **ごみゼロ地域清掃活動の参加者数**



目標値、定義

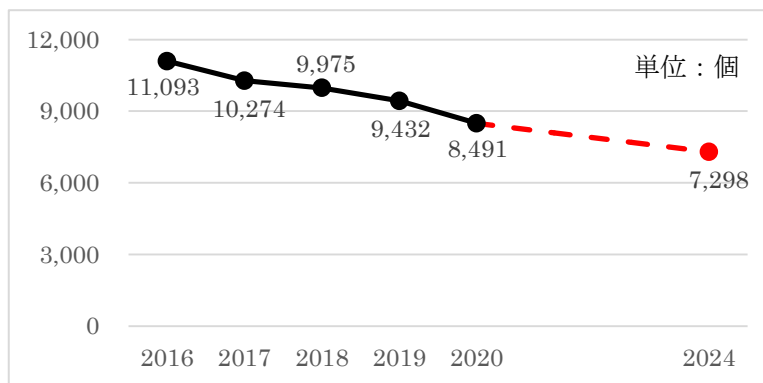
2024 年度目標 80,000 人

当該年度のごみゼロ地域清掃活動に参加した延べ人数

2020 年度実績 53,113 人

新型コロナウイルスの影響が出る前の 2019 年度までの実績を基に推計

(3) 活動指標2 **不法投棄処理個数**【低減目標】 **基**



目標値、定義

2024 年度目標 7,298 個

不法投棄され、区が処理したごみ、自転車、バイク、家電の合計
(足立区基本計画の定める目標値)

足立区基本計画目標値 2024 年度 7,298 個

柱4 自然環境・生物多様性の保全

4-1 自然や生物多様性に対する理解の促進

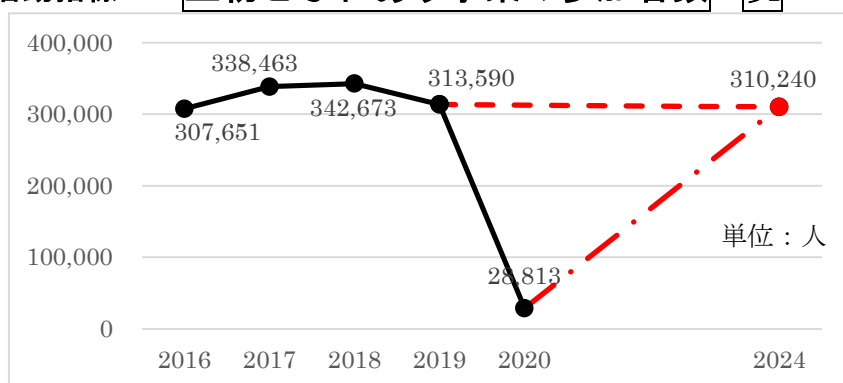
目標：自然や生物とのふれあいを通じて、生物多様性の大切さを理解する

(1) 成果指標 **自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合**

2021 年度実績を踏まえ目標値を設定予定

足立区政に関する世論調査の新規調査項目のため、データなし

(2) 活動指標1 **生物とふれあう事業の参加者数** **現**



目標値、定義

2024 年度目標 310,240 人

環境部、生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ、荒川ビジターセンターが実施し、生物とふれあう機会が含まれる事業の参加者数

2020 年度実績 28,813 人

現行環境基本計画目標値 2024 年度 330,600 人

**一部の事業で実施内容の見直しがあることから、現行計画から目標値を見直し
新型コロナウイルスの影響が出る前の 2019 年度までの実績を基に推計**

(3) 活動指標2 **自然や生物に関する情報発信回数**

2020年度実績からの新規調査項目

目標値、定義

2024年度目標 3,200回

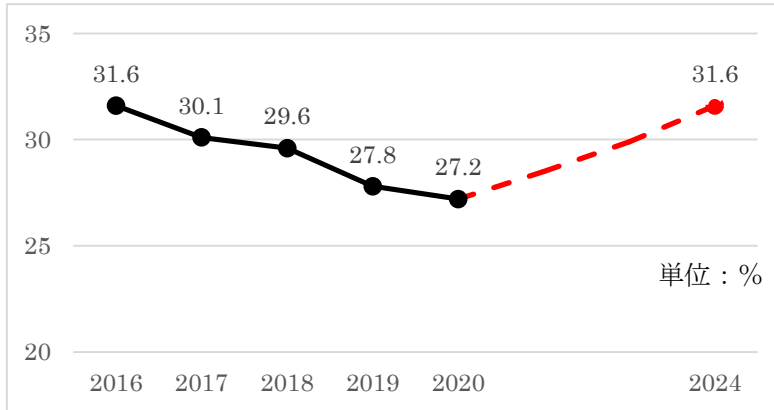
環境部、生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープ、荒川ビジターセンターからの自然や生物に関する情報発信回数（ホームページ、SNS、チラシ、広報紙など）

2020年度実績 3,094回

4-2 自然環境の保全と創出

目標：身近な自然環境を守り、増やす

(1) 成果指標 **まちなかの花や緑が増えていると感じる区民の割合** 緑



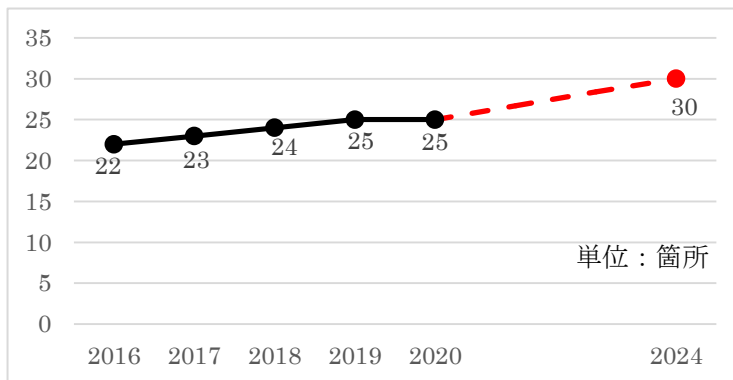
目標値、定義

2024 年度目標 31.6%

足立区政に関する世論調査で、まちなかの花や緑が増えていると回答した区民の割合（**足立区緑の基本計画の定める目標値**）

緑の基本計画目標値 2024 年度 31.6%

(2) 活動指標 1 **保存樹林指定箇所数（累計）** 緑



目標値、定義

2024 年度目標 30 箇所

区が保存樹林として指定した箇所数。樹木の一集団が占める土地の面積 300 平方メートル以上が対象（**足立区緑の基本計画の定める目標値**）

緑の基本計画目標値 2024 年度 30 箇所

(3) 活動指標2 **緑豊かな景観形成に取り組む団体・区民の数** **緑**

2019年度からの調査項目

目標値、定義

2024年度目標 1,312 (団体767、個人545)

公園等の管理、花壇や緑地・大木の管理、緑によるまちの美化、農業支援など
に取り組む団体や区民の数 **(足立区緑の基本計画の定める目標値)**

2019年度実績 1,163 (団体720、個人443)

緑の基本計画目標値 2024年度 1,312 (団体767、個人545)

柱5 学びと行動のしくみづくり

5-1 環境意識の向上と行動する人材の育成

目標：高い環境意識を持って行動する人を増やす

(1) 成果指標 **指標見直し**

【見直し前】環境への負荷を考慮して具体的に行動していると答えた区民の割合

【見直し後】ごみの分別や公共交通機関の積極利用など、日頃から環境への影響を考慮して具体的に行動していると答えた区民の割合

(表現をわかりやすく修正)

2021年度実績を踏まえ目標値を設定予定

足立区政に関する世論調査の新規調査項目のため、データなし

(2) 活動指標1 **環境に関する情報発信回数**

目標値、定義

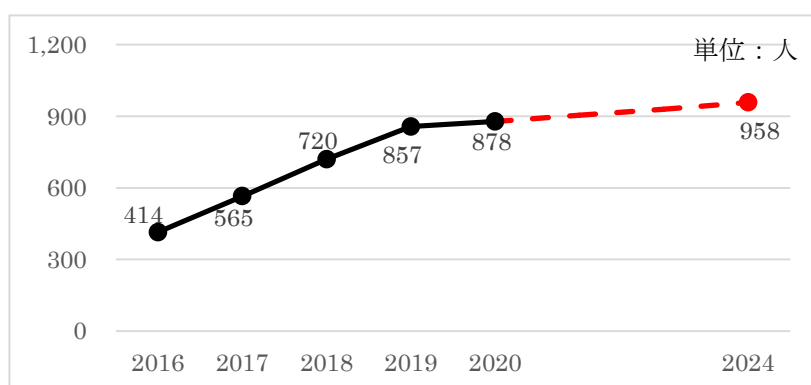
2024年度目標 420回

環境部がSNS、広報紙、チラシ、ポスター等で環境に関する情報を発信した数2020年度実績から新規に調査する項目のため、データなし

2020年度実績 330回

2020年度実績より目標値を設定

(3) 活動指標2 **環境学習プログラムに参加し、修了した人の数(累計)** **現**



目標値、定義

2024年度目標 958人

環境学習プログラムに参加した人のうち、認定を受けたり一定の要件を満たした人の数

現行環境基本計画目標値 2024年度 2,000人

対象事業の一部終了により目標値見直し

5-2 環境保全活動の拡大

目標：環境配慮行動に取り組む人を増やし、活動を広げていく

(1) 成果指標 **自主的な環境保全活動数**

2020年度実績から新規に調査する項目のため、データなし

目標値、定義

2024年度目標 1,400回

区が把握できる自主的な環境保全活動の合計（エコ活動ネットワーク足立の登録団体の活動、環境基金助成を受けた活動、野鳥モニターの活動、フードシェアリングサービスの利用回数）

2020年度実績 992回

2020年度実績より目標値を設定

(2) 活動指標1 **区が実施する環境配慮を促す事業の数**

2020年度実績から新規に調査する項目のため、データなし

目標値、定義

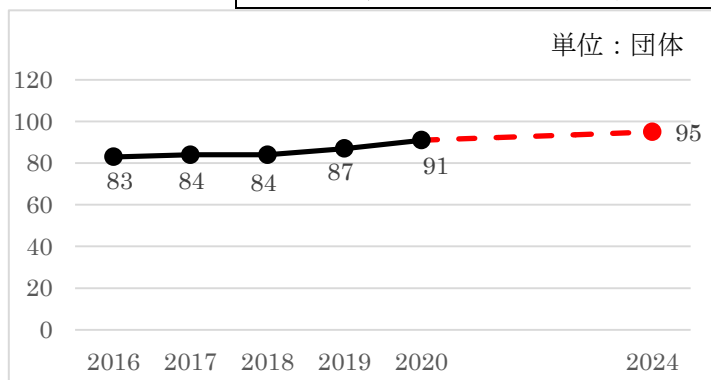
2024年度目標 80事業

行政評価の事務事業評価調書の環境に配慮していると回答した事業のうち、環境配慮を対外的に周知・アピールしている事業の数

2020年度実績 60事業

2020年度実績より目標値を設定

(3) 活動指標2 **エコ活動ネットワーク足立の登録団体数**



目標値、定義

2024年度目標 95団体

エコ活動ネットワーク足立に登録している団体数

近年の実績の推移を基に推計

令和3年度第2回足立区環境審議会資料

件名	環境基本計画第5章における施策と具体的な取組（案）について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>環境基本計画では、第5章において、各施策群の目標を達成に向けての施策と具体的な取組を示すこととしている。</p> <p>具体的な取組案を別紙1にまとめた。</p> <p>今回の環境基本計画見直しにあたり、新たに加えた取組については「追加」、現行基本計画の取組内容を見直したものは「変更」と資料の取組内容右側に記載している。</p> <p>「変更」の下段に記載した「変更前」については、変更後との比較のため、現行環境基本計画に記載されている取組を載せたものであり、実際の環境基本計画改定版には反映されない内容である。</p> <p>環境審議会のご意見をいただき、取組について肉付け、整理を進めていく。</p>

件名	環境基本計画第8章の構成について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>現行の第三次環境基本計画においては、行動編を策定し、足立区環境基本条例第9条に基づく行動指針として、区、区民、事業者の環境保全に関する行動を具体的に示し、それぞれの主体が日常生活や事業活動における活動の参考として活用してもらえよう整理している。</p> <p>改定版では第8章が現行計画の行動編に該当し、柱ごとに区、区民、事業者の行動指針を示す点は現行の環境基本計画と同じ構成だが、イラストを用いてわかりやすく表現することで、行動を身近に感じられるようレイアウトを見直し、より多くの方の環境保全への取組につなげていく狙いがある。</p> <p>行動指針の内容についても見直しを行い、二酸化炭素排出実質ゼロに向けた新たな行動を加えている。</p> <p>構成については別紙2にイメージをまとめた。</p> <p>今回は個々の行動指針案について、審議会でご意見をいただき、内容の充実につなげていく。</p> <p>イラストは現状、イメージのため1ページのみに表示しているが、今後、素材検討やどの行動指針をイラスト入りで表示するか等を検討し、いただいた指針に関するご意見の反映とあわせ次回以降の審議会にお示しする。</p>

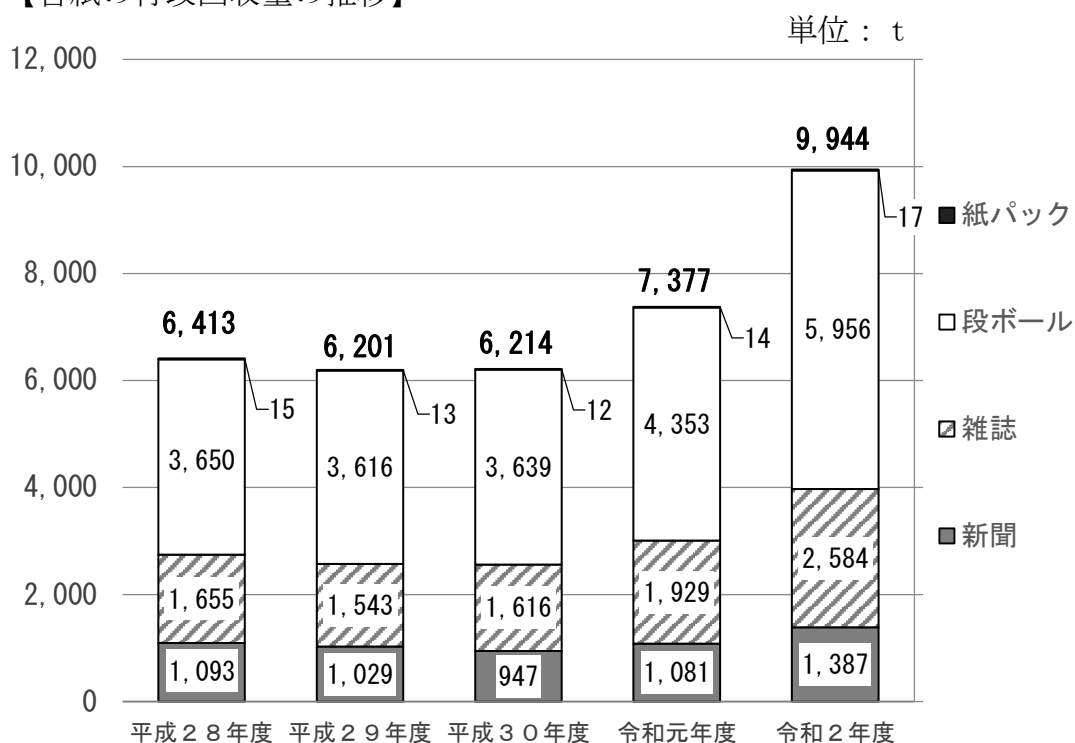
件名	資源持去り防止対策の実施結果について																																								
所管部課名	環境部ごみ減量推進課																																								
内容	<p>令和2年度の資源持去り防止対策の実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 資源持去り防止指導員によるパトロール（車両1台2人体制） 持去り行為を繰り返す者に対し、警告書や収集運搬禁止命令による行政指導や過料等を科す。 実施日時：月曜～土曜日・午前7時から正午まで。</p> <p>【資源持去り防止指導員によるパトロール実績】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="427 862 1433 1115"> <thead> <tr> <th></th> <th>注意等</th> <th>警告</th> <th>過料</th> <th>収集運搬禁止命令</th> <th>氏名等公表(※)</th> <th>罰金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,981</td> <td>2</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,941</td> <td>1</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,488</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 氏名等公表は、区役所前掲示場及び区ホームページに、30日間掲載している。</p> <p>2 民間警備会社によるパトロール（車両2台4人体制） 持去り行為を発見した際に、注意喚起や条例周知、原状回復を促す。 不法投棄物を発見した際は、ごみ減量推進課から管理者に連絡し対応を依頼している。 実施日時：月曜～土曜日・午前4時から午前8時まで。 ※ 時間帯は弾力的に変更</p> <p>【民間警備会社によるパトロール実績】 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="427 1637 1406 1906"> <thead> <tr> <th></th> <th>口頭注意（資源持去り禁止条例周知チラシを配布）</th> <th>発見した不法投棄物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>4,715</td> <td>466</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,577</td> <td>1,406</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,635</td> <td>1,284</td> </tr> </tbody> </table>		注意等	警告	過料	収集運搬禁止命令	氏名等公表(※)	罰金	平成30年度	3,981	2	32	30	13	1	令和元年度	3,941	1	24	14	14	2	令和2年度	2,488	1	3	4	2	0		口頭注意（資源持去り禁止条例周知チラシを配布）	発見した不法投棄物	平成30年度	4,715	466	令和元年度	1,577	1,406	令和2年度	1,635	1,284
	注意等	警告	過料	収集運搬禁止命令	氏名等公表(※)	罰金																																			
平成30年度	3,981	2	32	30	13	1																																			
令和元年度	3,941	1	24	14	14	2																																			
令和2年度	2,488	1	3	4	2	0																																			
	口頭注意（資源持去り禁止条例周知チラシを配布）	発見した不法投棄物																																							
平成30年度	4,715	466																																							
令和元年度	1,577	1,406																																							
令和2年度	1,635	1,284																																							

3 資源持去りの状況について

令和元年度より古紙は低価格の状況が続いており、持ち去りが減少しているため、資源持去り防止指導員のパトロールによる過料、運搬禁止命令等の件数が減となった。民間警備会社によるパトロールについては、口頭注意が微増となったが、平成30年度比では約3分の1の水準に留まっている。

<参考>

【古紙の行政回収量の推移】



※ 端数処理のため、各合計値と内訳が一致しない場合がある。

問題点
今後の方針

資源持去り行為への取り締まりの要望は依然としてあるため、引き続き持去り行為を繰り返す悪質な行為者（車両を使用し持去り行為を行う者）に対し、区内警察署と連携し厳正に対処していく。

件名	家庭ごみ排出量及び資源化量、資源化率について																																																																																				
所管部課名	環境部足立清掃事務所、ごみ減量推進課																																																																																				
内容	<p>令和2年度のごみ量（燃やすごみ・燃やさないごみ・粗大ごみ）及び資源化量、資源化率について、以下のとおり報告する。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭ごみ量及び資源回収量ともに大きく増加した。</p> <p>1 家庭ごみ排出量【34頁別紙】家庭ごみ排出量の推移 単位：t</p> <table border="1" data-bbox="371 734 1465 902"> <thead> <tr> <th></th> <th>燃やすごみ</th> <th>燃やさないごみ</th> <th>粗大ごみ</th> <th>合計</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>126,170</td> <td>3,273</td> <td>5,050</td> <td>134,493</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>128,519</td> <td>3,607</td> <td>5,885</td> <td>138,012</td> <td>3,519</td> </tr> </tbody> </table> <p>ごみ量の中には、事業系有料ごみ処理券を貼付した事業系ごみを含む。</p> <p>2 資源回収量【34頁別紙】資源化量及び資源化率の推移 単位：t</p> <p>(1) 品目別</p> <table border="1" data-bbox="367 1070 1520 1249"> <thead> <tr> <th>行政回収</th> <th>品目</th> <th>古紙</th> <th>びん</th> <th>缶</th> <th>ペットボトル</th> <th>食品トレイ</th> <th>合計</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>元年度</td> <td>7,377</td> <td>4,589</td> <td>1,512</td> <td>2,645</td> <td>3</td> <td>16,126</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>9,944</td> <td>4,887</td> <td>1,681</td> <td>2,862</td> <td>4</td> <td>19,377</td> <td>3,251</td> </tr> </tbody> </table> <p>食品トレイの分別収集は、千住常東地区のみ実施</p> <table border="1" data-bbox="367 1305 1386 1485"> <thead> <tr> <th>集団回収</th> <th>品目</th> <th>古紙</th> <th>びん</th> <th>缶</th> <th>古布</th> <th>合計</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>元年度</td> <td>9,018</td> <td>7</td> <td>387</td> <td>124</td> <td>9,537</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>7,984</td> <td>1</td> <td>392</td> <td>102</td> <td>8,478</td> <td>△1,059</td> </tr> </tbody> </table> <p>コロナ禍で集団回収活動が縮小されたため回収量が減となった。</p> <p>(2) 行政回収量と集団回収量の合計 単位：t</p> <table border="1" data-bbox="376 1608 1367 1776"> <thead> <tr> <th></th> <th>行政回収量</th> <th>集団回収量</th> <th>合計</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>16,126</td> <td>9,537</td> <td>25,663</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>19,377</td> <td>8,478</td> <td>27,856</td> <td>2,193</td> </tr> </tbody> </table>		燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	合計	増減	元年度	126,170	3,273	5,050	134,493	—	2年度	128,519	3,607	5,885	138,012	3,519	行政回収	品目	古紙	びん	缶	ペットボトル	食品トレイ	合計	増減		元年度	7,377	4,589	1,512	2,645	3	16,126	—		2年度	9,944	4,887	1,681	2,862	4	19,377	3,251	集団回収	品目	古紙	びん	缶	古布	合計	増減		元年度	9,018	7	387	124	9,537	—		2年度	7,984	1	392	102	8,478	△1,059		行政回収量	集団回収量	合計	増減	元年度	16,126	9,537	25,663	—	2年度	19,377	8,478	27,856	2,193
	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	合計	増減																																																																																
元年度	126,170	3,273	5,050	134,493	—																																																																																
2年度	128,519	3,607	5,885	138,012	3,519																																																																																
行政回収	品目	古紙	びん	缶	ペットボトル	食品トレイ	合計	増減																																																																													
	元年度	7,377	4,589	1,512	2,645	3	16,126	—																																																																													
	2年度	9,944	4,887	1,681	2,862	4	19,377	3,251																																																																													
集団回収	品目	古紙	びん	缶	古布	合計	増減																																																																														
	元年度	9,018	7	387	124	9,537	—																																																																														
	2年度	7,984	1	392	102	8,478	△1,059																																																																														
	行政回収量	集団回収量	合計	増減																																																																																	
元年度	16,126	9,537	25,663	—																																																																																	
2年度	19,377	8,478	27,856	2,193																																																																																	

3 資源化率

(1) ごみ総量に対する資源化率

※ 資源化率 = 資源化量 ÷ ごみ総量

資源化量・・・資源行政・集団回収量 + 燃やさないごみ・粗大ごみ資源化量
 ごみ総量・・・家庭ごみ排出量 + 資源行政・集団回収量

・令和2年度目標値……………20.5%

単位：t

	ごみ総量	資源化量	資源化率
元年度	160,155	30,503	19.05%
2年度	165,867	33,136	19.98%

(2) 燃やさないごみの資源化率

・令和2年度目標値……………90%

単位：t

	回収量	資源化量	資源化率
元年度	3,273	2,987	91.3%
2年度	3,607	3,267	90.6%

金属や木材、布団を選別して資源化

(3) 粗大ごみの資源化率

・令和2年度目標値……………40%

単位：t

	回収量	資源化量	資源化率
元年度	5,050	1,854	36.7%
2年度	5,885	2,013	34.2%

金属や木材、布団を選別して資源化

参考【34頁別紙】1人一日当たりの家庭ごみ排出量の推移

・令和2年度目標値……………500g

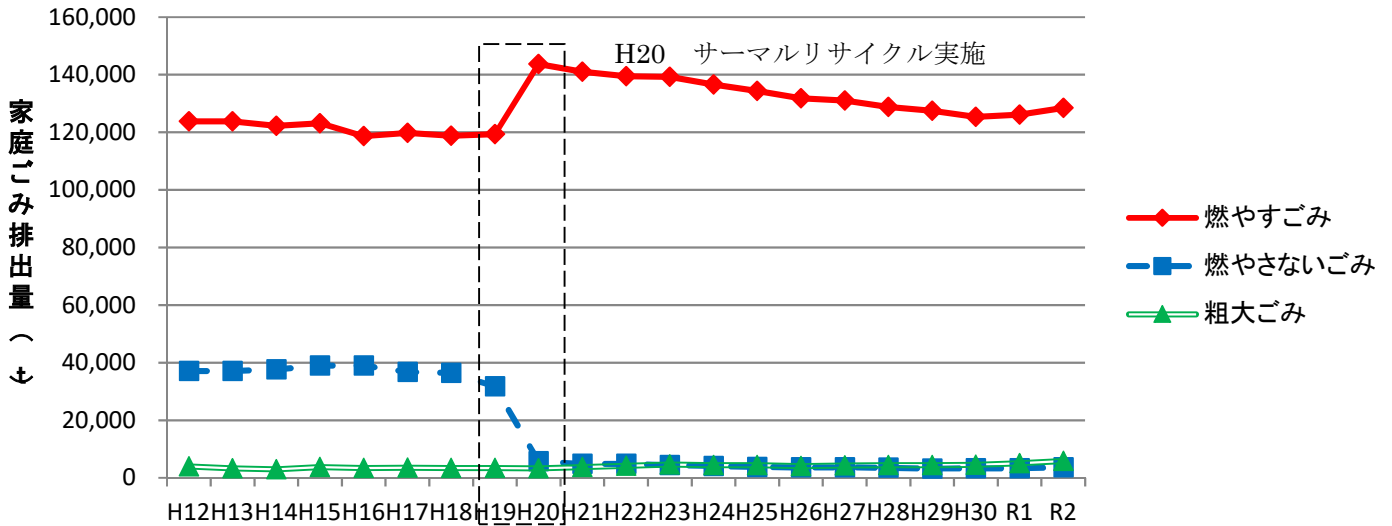
単位：g

年度 項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
ごみ量	545.0	539.9	530.5	533.0	547.2

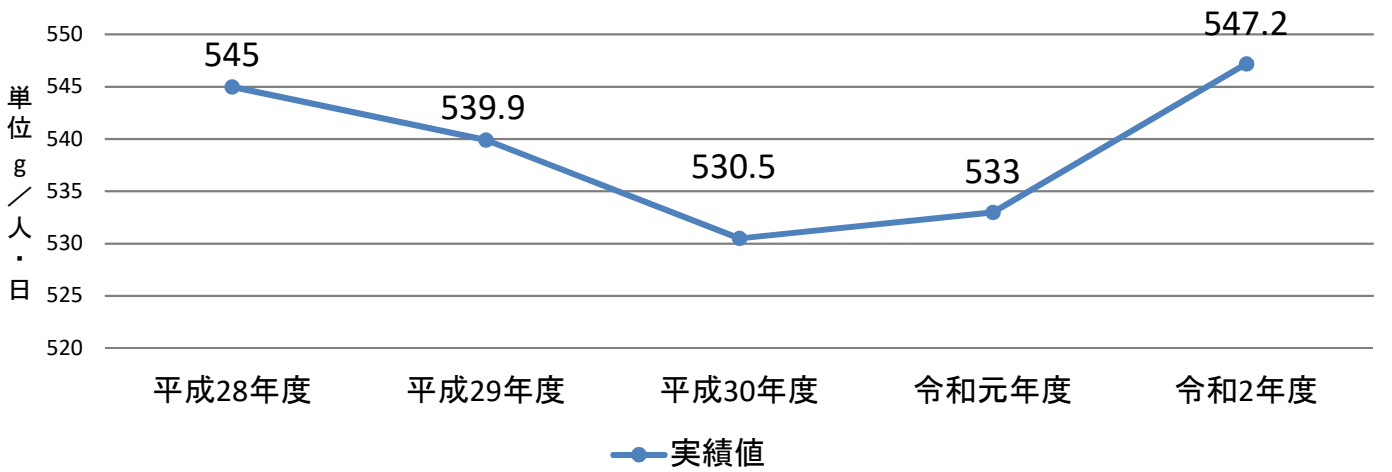
※ 各数値は端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。

内 容

家庭ごみ排出量の推移



1人一日当たりの家庭ごみ排出量の推移



資源化量及び資源化率の推移

